



2022年3月期第1四半期

決算説明資料

本資料は、当社の2022年3月期第1四半期における連結業績の概要及び今後の経営展望に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の将来に関する記述が含まれております。当該記述は当社の将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。従って、将来の業績に関しては、当社の経営環境の変化等により変更を余儀なくされることがあることにご留意下さい。

商号	澤田ホールディングス株式会社 (Sawada Holdings Co., Ltd.)		
代表者	代表取締役社長 上原悦人		
所在地	東京都新宿区西新宿六丁目8番1号 住友不動産新宿オークタワー27階		
設立	1958年(昭和33年)1月21日		
資本金	12,223百万円		
グループ会社数	〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕2社		
従業員数	〔グループ全体〕 5,666名	(当社単体)	7名
		(連結子会社)	5,289名
		(持分法適用関連会社)	370名

【株式情報】

上場市場	東京証券取引所 JASDAQ市場
証券コード	8699
発行済株式総数	40,953,500株
時価総額	40,830百万円

2021年6月末時点

1958年 1月	当社(協立証券(株))設立
1999年 3月	H.I.S.の創業者、澤田秀雄が当社代表取締役社長に就任 (2016年11月より代表取締役会長に就任)
1999年 4月	エイチ・アイ・エス協立証券(株)に商号変更
2001年 4月	エイチ・エス証券(株)に商号変更
2004年10月	大阪証券取引所ヘラクレスに株式上場 ※ 現在は東京証券取引所JASDAQ市場に株式上場(証券コード:8699)
2006年 9月	エイチ・エス証券分割準備(株)(当社の証券事業の受皿会社)を設立
2007年 4月	澤田ホールディングス(株)に商号変更し、持株会社体制に移行 エイチ・エス証券分割準備(株)はエイチ・エス証券(株)に商号変更し、当社の証券事業を承継

〔連結子会社〕5社 〔持分法適用関連会社〕2社

《主要関係会社》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

2021年6月末時点

主な業種	会社名	議決権比率
銀行	● ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	60.00%
	● キルギスコメルツ銀行(OJSC Kyrgyzkommertsbank)	52.90%
	▲ ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)	46.80%
証券	● エイチ・エス証券株式会社	100.00%
債権管理回収	● エイチ・エス債権回収株式会社	100.00%
外国為替保証金取引	▲ 株式会社外為どっとコム	40.19%

※ ソリッド銀行は、2020年5月26日付で、第三者割当増資を実施しており、その結果、当社の議決権比率が減少しております。(45.42% → 44.31%)

※ ソリッド銀行は、2021年3月1日付で、自己株式の買取を実施しており、その結果、当社の議決権比率が増加しております。(44.31% → 46.80%)

※ iXITは、2020年8月1日付で、当社が保有するその全株式を譲渡しており、その結果、2021年3月期第2四半期連結累計期間より、当社の連結子会社から除外しております。

※ ハーン銀行は、2020年9月28日付で、IFC(国際金融公社)より自己株式を取得しており、その結果、当社の議決権比率が増加しております。(54.41% → 60.00%)

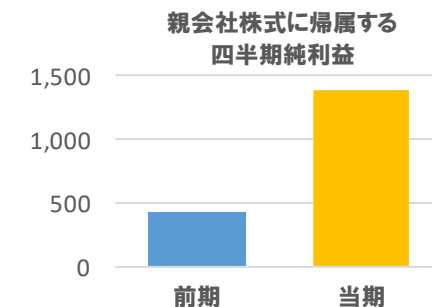
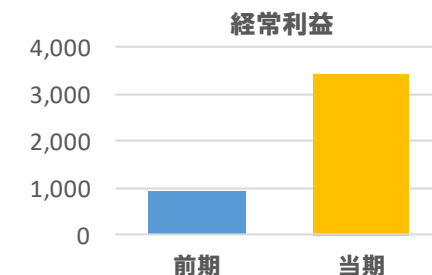
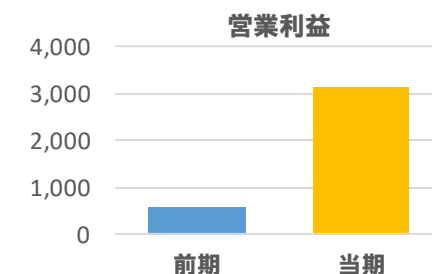
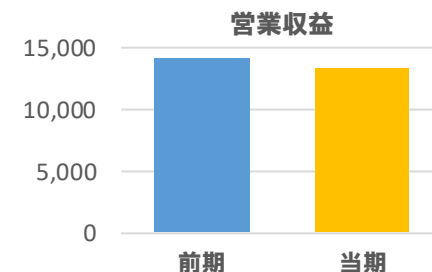
《主要関係会社の設立又は当社グループ加入の経緯》

● 連結子会社 ▲ 持分法適用関連会社

会社名	沿革（設立又は当社グループ加入の経緯）
● ハーン銀行（Khan Bank LLC）	2003年 国際競争入札により株式を取得
● キルギスコメルツ銀行（OJSC Kyrgyzkommertsbank）	2017年 株式を取得
▲ ソリッド銀行（JSC Solid Bank）	2012年 第三者割当増資により株式を取得
● エイチ・エス証券株式会社	2006年 設立（2007年 当社の証券事業を承継）
● エイチ・エス債権回収株式会社	2006年 設立
▲ 株式会社外為どっとコム	2005年 株式を取得

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2021年3月期 第1四半期 (2020年4月～2020年6月)	2022年3月期 第1四半期 (2021年4月～2021年6月)	前期比
営業収益	14,214	13,407	94.3%
純営業収益	6,251	7,402	118.4%
営業利益	580	3,148	542.1%
経常利益	906	3,423	377.8%
親会社株主に帰属 する当期純利益	429	1,389	323.5%



(単位:百万円)

科目 \ 期間	2021年3月期 (2021年3月末時点)	2022年3月期 第1四半期 (2022年6月末時点)	前期末比
総資産	499,591	540,297	108.1%
純資産	71,343	75,896	106.4%
現預金	92,317	85,087	92.2%

連結業績の主な増減要因

■【銀行関連事業】 ハーン銀行は減収増益

モンゴル最大のリテール銀行であるハーン銀行(Khan Bank LLC)では、新型コロナウイルスによる景気悪化のため資金運用収益は減少したが、モンゴル政府が実施した施策により普通預金・当座預金に対する利息の支払いが免除されたことにより資金調達費用が大きく減少したことから、減収増益となった。

営業収益 117億61百万円（前年同期比 4億 7百万円減）

営業利益 29億14百万円（前年同期比 24億89百万円増）

■【証券関連事業】 エイチ・エス証券(株)は増収増益

エイチ・エス証券は、米国での新型コロナウイルスに対するワクチン接種の進展や政府の経済政策などから米国株式市場が好調に推移し、主に外国株式の販売が増加したことにより、営業収益・営業利益は前年同期比で増加。

営業収益 9億13百万円（前年同期比 97百万円増）

営業利益 1億46百万円（前年同期比 90百万円増）

■【債権管理回収関連事業】 エイチ・エス債権回収(株)は減収減益

エイチ・エス債権回収は、前年同期において、債権譲渡による多額の売上が計上されていたため、当四半期は相対的に減収減益となった。また、債権の仕入価格も引き続き高騰が続いている。

営業収益 7億54百万円（前年同期比 2億75百万円減）

営業利益 1億 8百万円（前年同期比 33百万円減）

2022年3月期第1四半期（2021年4月1日～2021年6月30日）

（単位：百万円）

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	11,761	913	754	-	173	13,407
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 11,761 内 -	外 890 内 23	外 754 内 -	-	外 0 内 172	-
営業利益	2,914	146	108	-	48	3,148
経常利益	2,914	163	80	-	401	3,423

2021年3月期第1四半期（2020年4月1日～2020年6月30日）

（単位：百万円）

科目 \ セグメント	銀行 関連事業	証券 関連事業	債権管理回収 関連事業	IT 関連事業	その他事業	連結
営業収益	12,169	816	1,030	217	132	14,214
営業収益の内訳 （外部／内部）	外 12,169 内 -	外 798 内 18	外 1,030 内 -	外 215 内 1	外 0 内 131	-
営業利益	424	56	141	△47	50	580
経常利益	424	69	108	△49	447	906

※ 営業収益の内訳（外：外部顧客に対する営業収益／内：セグメント間の内部収益又は振替高）

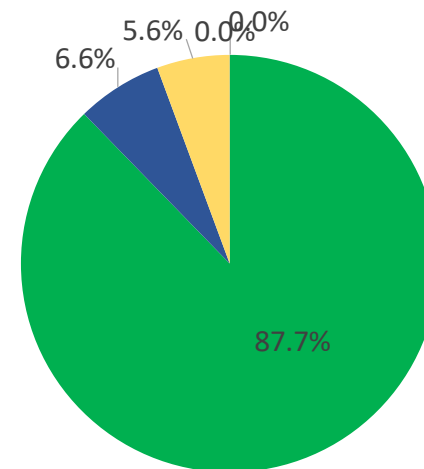
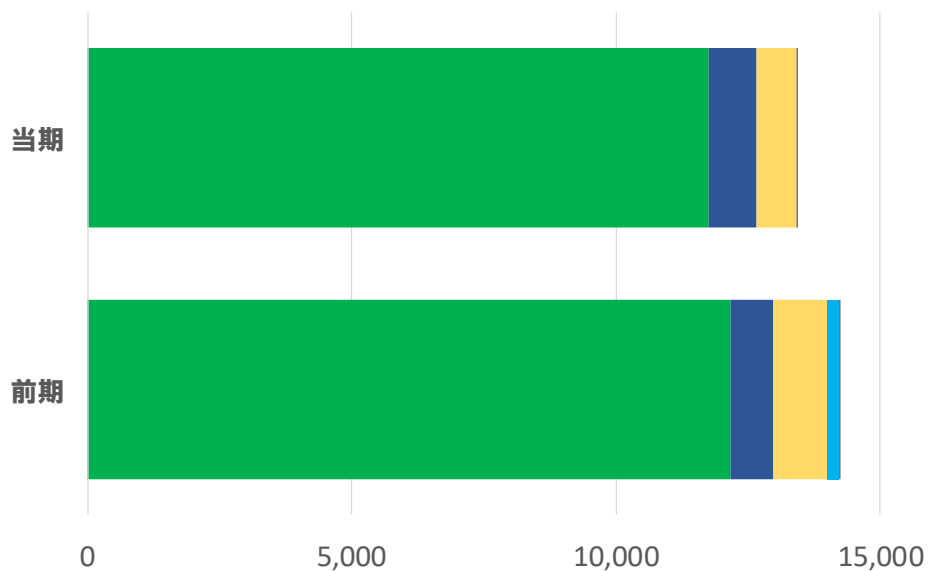
※ 連結は、セグメント間の内部収益を控除後の数値を表示。

セグメント別営業収益（外部顧客に対する営業収益）

（単位：百万円）

セグメント	期間	2021年3月期第1四半期 (2020年4月～2020年6月)	2022年3月期第1四半期 (2021年4月～2021年6月)	前期比
銀行関連事業		12,169	11,761	96.6%
証券関連事業		798	890	111.6%
債権管理回収関連事業		1,030	754	73.3%
IT関連事業		215	-	-%
その他事業		0	0	100.0%
合計		14,214	13,407	94.3%

■ 銀行関連事業 ■ 証券関連事業 ■ 債権管理回収関連事業 ■ IT関連事業 ■ その他事業

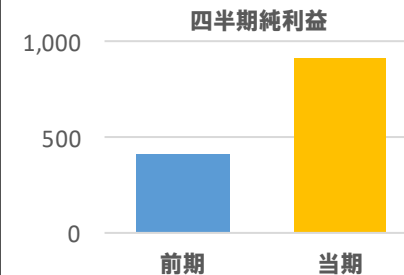
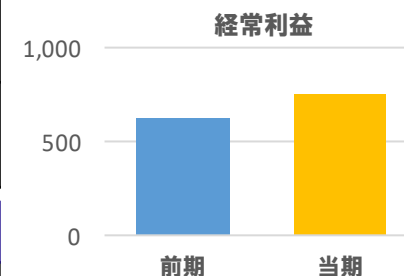
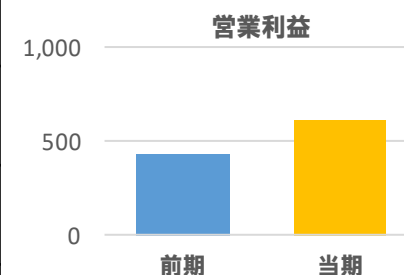
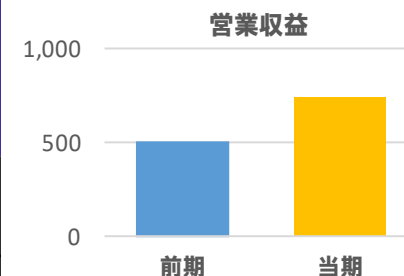


構成比率(当期)

澤田ホールディングス(株)【個別業績】

(単位:百万円)

科目 \ 期間	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比
営業収益	510	740	145.0%
営業利益	428	615	143.7%
経常利益	620	751	121.1%
当期純利益	406	914	225.3%
総資産 【前期末 / 当期末】	27,448	27,877	101.6%
純資産 【前期末 / 当期末】	27,305	27,736	101.6%



主な増減要因

- 関係会社からの配当金が増加(230百万円増)したことに伴い、前年同期比で増収。
(ただし、関係会社配当金・経営管理料は内部取引のため、連結業績には影響しない)
- 前期は、iXIT(株)の株式譲渡にかかる整理損失引当金231百万円を特別損失に計上していたこともあり、当期純利益は前年同期比で増加。

(単位:百万MNT)

商号	ハーン銀行(Khan Bank LLC)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2020年12月期 第1四半期</th> <th>2021年12月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Interest income (資金運用収益)</td> <td>275,072</td> <td>269,566</td> <td>98.0%</td> </tr> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>94,493</td> <td>115,086</td> <td>121.8%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>13,849</td> <td>44,288</td> <td>319.8%</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>12,151,761</td> <td>12,323,994</td> <td>101.4%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	前年同期比	Interest income (資金運用収益)	275,072	269,566	98.0%	Net interest income (純資金運用収益)	94,493	115,086	121.8%	Profit for the period (当期純利益)	13,849	44,288	319.8%	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	12,151,761	12,323,994	101.4%
科目	2020年12月期 第1四半期		2021年12月期 第1四半期	前年同期比																		
Interest income (資金運用収益)	275,072		269,566	98.0%																		
Net interest income (純資金運用収益)	94,493		115,086	121.8%																		
Profit for the period (当期純利益)	13,849		44,288	319.8%																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	12,151,761	12,323,994	101.4%																			
所在地	モンゴル国 ウランバートル																					
資本金	58,071百万MNT (MNT:トゥグルグ)																					
議決権の 所有割合	60.00%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① モンゴル国内に500店舗を超える支店ネットワークを有するモンゴル最大のリテール銀行
- ② スマートフォンアプリや非接触カードの提供等のE-バンキングサービスの他、預入れができる(紙幣還流式)ATMの設置にも注力

概況

- ハーン銀行の業績(現地通貨ベース)は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による景気悪化の影響で資金運用収益は減少したものの、政府が実施した預金利息免除の施策により資金調達費用が減少、また貸倒引当金繰入額も減少し、純資金運用収益、当期純利益は大幅に増加した。
- 個人向けにはE-バンキングサービスの推進、デビットカード・クレジットカードの新規発行・更新手続きの見直しによる利便性の向上、口座情報や証明書の発行等の銀行サービスを24時間365日受けることができるKIOSK端末の設置拡大など、顧客サービスの更なる向上に注力。
- 2020年1月に施行された年金担保融資に対する法律の影響で個人向け融資が伸び悩むなか、大口の企業などの法人向け融資にも注力。

	2020年3月末	2021年3月末	前年同期比
Customer accounts (預金残高) (百万MNT)	7,713,225	9,841,426	127.6%
Loans and advances to customers (net) (融資残高) (百万MNT)	4,237,163	5,323,477	125.6%

【為替レート】
2021年3月末
1円 = 25.74MNT
2021年1月~3月平均
1円 = 26.86MNT

(単位:百万円)

商号		期間			
		科目	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比
所在地	東京都新宿区	営業収益	816	913	111.9%
資本金	3,000百万円	営業利益	56	146	258.5%
議決権の 所有割合	100.00%	経常利益	69	163	233.9%
主要事業	第一種金融商品取引業(証券業)	当期純利益	46	101	219.7%
		総資産 【前期末/当期末】	37,457	38,308	102.3%

会社プロフィール

- ① 当社の前身であり、国内外の株式・債券・投資信託等を幅広く取り扱うとともに、投資銀行部門も有する総合証券会社
- ② 2007年、証券会社であった当社が持株会社体制に移行する際、会社分割により同社に証券事業等を承継

概況

- 日本国内では新型コロナウイルスに対するワクチン接種の遅れなどにより国内株式市場が伸び悩んだが、米国ではワクチン接種の進展や政府による2兆ドルを超える経済政策の影響で米国株式市場が好調を維持し、主に外国株式の販売が増加し、増収増益。
- 引き続き、新興国通貨建て債券や米国株式を中心とした外国株式の販売に注力。また、顧客本位の業務運営の更なる進展、対面とネットの境界をなくしたサービス展開、法人ビジネスの拡大と新たなHSブランドの確立と価値向上を目指す。
- 引受業務では、新規公開(IPO)4社の幹事に参入。

		2020年6月末	2021年6月末	前年同期比
預り資産残高	(百万円)	278,498	331,249	118.9%

(単位:百万円)

商号	エイチ・エス債権回収株式会社	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目 \ 期間</th> <th>2021年3月期 第1四半期</th> <th>2022年3月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上高</td> <td>1,030</td> <td>754</td> <td>73.3%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>141</td> <td>108</td> <td>76.6%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>108</td> <td>80</td> <td>74.9%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>74</td> <td>55</td> <td>75.1%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>7,518</td> <td>7,043</td> <td>93.7%</td> </tr> </tbody> </table>	科目 \ 期間	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	売上高	1,030	754	73.3%	営業利益	141	108	76.6%	経常利益	108	80	74.9%	当期純利益	74	55	75.1%	総資産 【前期末/当期末】	7,518	7,043	93.7%
科目 \ 期間	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期	前年同期比																						
売上高	1,030		754	73.3%																						
営業利益	141		108	76.6%																						
経常利益	108		80	74.9%																						
当期純利益	74		55	75.1%																						
総資産 【前期末/当期末】	7,518	7,043	93.7%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	500百万円																									
議決権の 所有割合	100.00%																									
主要事業	債権管理回収業																									

会社プロフィール

- ① 2006年に設立した債権管理回収会社(サービサー)
- ② 現在は債権管理回収業務の他、コンサルティング業務や集金代行業務を展開するなど業容を拡大

概況

- 前年同期の売上については債権譲渡による大幅な売上が含まれていたが、当期については債権譲渡による大幅な売り上げには至っておらず、結果として減収減益となった。しかし、無担保債権の回収は堅調に進捗している。
- 債権の回収が進むにつれ買取債権残高は減少傾向にあるが、不良債権市場は引き続き高騰が続いている。コロナ禍による金融機関の緊急融資や制度融資についても、徐々に不良債権の発生は懸念されているものの、不良債権市場に供給されるのは今しばらく時間がかかるものと予想される。今後も債権の買取において厳正な査定を行い、収益性の高い債権の取得を目指す。

	2020年6月末	2021年6月末	前年同期比
債権譲渡額を除いた買取債権の回収 (百万円)	775	714	92.2%
回収受託手数料(集金代行を含む) (百万円)	29	21	71.1%
買取債権残高 (百万円)	8,432	6,872	81.5%

(単位:百万円)

商号	株式会社外為どっとコム	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2021年3月期 第1四半期</th> <th>2022年3月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収益</td> <td>1,863</td> <td>1,737</td> <td>93.2%</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>830</td> <td>729</td> <td>87.8%</td> </tr> <tr> <td>経常利益</td> <td>841</td> <td>723</td> <td>85.9%</td> </tr> <tr> <td>当期純利益</td> <td>564</td> <td>484</td> <td>85.9%</td> </tr> <tr> <td>総資産 【前期末/当期末】</td> <td>134,860</td> <td>134,502</td> <td>99.7%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2021年3月期 第1四半期	2022年3月期 第1四半期	前年同期比	営業収益	1,863	1,737	93.2%	営業利益	830	729	87.8%	経常利益	841	723	85.9%	当期純利益	564	484	85.9%	総資産 【前期末/当期末】	134,860	134,502	99.7%
科目	2021年3月期 第1四半期		2022年3月期 第1四半期	前年同期比																						
営業収益	1,863		1,737	93.2%																						
営業利益	830		729	87.8%																						
経常利益	841		723	85.9%																						
当期純利益	564		484	85.9%																						
総資産 【前期末/当期末】	134,860	134,502	99.7%																							
所在地	東京都港区																									
資本金	778百万円																									
議決権の 所有割合	40.19%																									
主要事業	第一種金融商品取引業 (外国為替保証金取引業)																									

会社プロフィール

- ① 業界最大級の口座数・預り資産を誇るFX取引(外国為替保証金取引)の老舗企業
- ② 2014年より主要通貨ペアにおいて業界最狭水準のスプレッド提供を開始

概況

- クロス円通貨ペアにおいて取引数量が減少したため減収減益となった。新たな異業種企業の参入により顧客の獲得競争がさらに激化していることも要因。
- 今後は、顧客ニーズを反映した取引ツールの改善や魅力的なスプレッドの提示により顧客の信頼を勝ち取り、また、中長期的に安定した収益確保を実現するため新たな収益源の確立に努める。
- 100円から積立投資ができる新たなサービス「らくらくFX積立」を開始。

	2020年6月末	2021年6月末	前年同期比
口座数 (件)	513,936	535,805	104.3%
預り資産残高 (百万円)	112,583	114,113	101.4%

(単位:百万RUB)

商号	ソリッド銀行(JSC Solid Bank)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>科目</th> <th>2020年12月期 第1四半期</th> <th>2021年12月期 第1四半期</th> <th>前年同期比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Net interest income (純資金運用収益)</td> <td>34</td> <td>94</td> <td>273.0%</td> </tr> <tr> <td>Net operating income (純業務収益)</td> <td>220</td> <td>317</td> <td>144.3%</td> </tr> <tr> <td>Profit for the period (当期純利益)</td> <td>△20</td> <td>130</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Total assets (総資産) 【前期末/当期末】</td> <td>8,803</td> <td>8,950</td> <td>101.7%</td> </tr> </tbody> </table>	科目	2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	前年同期比	Net interest income (純資金運用収益)	34	94	273.0%	Net operating income (純業務収益)	220	317	144.3%	Profit for the period (当期純利益)	△20	130	-	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	8,803	8,950	101.7%
科目	2020年12月期 第1四半期		2021年12月期 第1四半期	前年同期比																		
Net interest income (純資金運用収益)	34		94	273.0%																		
Net operating income (純業務収益)	220		317	144.3%																		
Profit for the period (当期純利益)	△20		130	-																		
Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	8,803	8,950	101.7%																			
所在地	ロシア連邦 ウラジオストク																					
資本金	1,962百万RUB (RUB:ルーブル)																					
議決権の 所有割合	46.80%																					
主要事業	銀行業																					

会社プロフィール

- ① ソリッド金融グループの一員で、カムチャツカ地方における最大資産規模の地場銀行であり、ロシア極東地域での事業拡大を推進
- ② 日本・ロシア合併企業の特長を活かし、両国企業のビジネスマッチングやコンサルティング業務を積極的に展開

概況

- 預金残高、融資残高ともに前年同期比で減少したが、貸出金利の低下や人件費等のコスト削減の結果、増収増益となった。
- ロシア経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、実質GDP(1-3月)は前年同期比で0.7%減少と減少幅は縮小している。また、欧米諸国による経済制裁は継続しており、中央銀行の規制強化により銀行数は減少するなど、厳しい状況が続く。
- 中堅優良企業への貸出や為替取引・貴金属取引等の非金利収入の増加に引き続き注力。また、不良債権の回収、担保物権の売却、預金コストの削減等により、業務の合理化とともに財務状況の改善に取り組む。

	2020年3月末	2021年3月末	前年同期比	【為替レート】 2021年3月末 1RUB = 1.46円 2021年1月~3月平均 1RUB = 1.42円
Customer accounts (預金残高) (百万RUB)	6,798	5,939	87.4%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万RUB)	5,449	5,094	93.5%	

(単位:百万KGS)

商号	キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)	科目	期間		前年同期比
			2020年12月期 第1四半期	2021年12月期 第1四半期	
所在地	キルギス共和国 ビシュケク	Net interest income ※ (純資金運用収益)	64	58	91.8%
資本金	1,000百万KGS (KGS:キルギスソム)	Operating income (純業務収益)	15	69	457.9%
議決権の 所有割合	52.90%	Profit for the period (当期純利益)	△45	7	-
主要事業	銀行業	Total assets (総資産) 【前期末/当期末】	5,166	5,587	108.1%

会社プロフィール

- ① 中央アジアの新興国、キルギス共和国に本店を置く銀行
- ② 2017年6月、当社はキルギスコメルツ銀行の株式を取得し、当社グループの一員となる

概況

- キルギス経済の景気悪化が続いており、預金残高は増加したが融資残高はほぼ横ばい、純資金運用収益は減少している。貸倒引当金の戻入があったため純業務収益は増加。
- キルギス経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により景気の悪化が続き、実質GDP(1-3月)は前年同期比で9.4%の減少と厳しい状況。
- 中小企業や個人顧客への貸出し、オンラインバンキングやカード事業の強化に加え、システム強化等の全体的な合理化を図る。

※ 上表のNet interest incomeは、貸倒引当金繰入前の純資金運用収益(Net interest income before recovery of impairment losses on interest bearing assets)を表示。

	2020年3月末	2021年3月末	前年同期比	【為替レート】 2021年3月末 1KGS = 1.29円 2021年1月~3月平均 1KGS = 1.26円
Customer accounts (預金残高) (百万KGS)	3,159	3,484	110.3%	
Loans and advances to customers (融資残高) (百万KGS)	3,014	2,998	99.5%	

《決算期の異なる会社の取扱い》 当社の決算期(3月期)と異なる以下のグループ会社に関する取扱い

会社名	決算期	連結財務諸表における取扱い／本資料の記載
ハーン銀行 (Khan Bank LLC)	12月	<ul style="list-style-type: none"> ■ 当社の連結財務諸表の作成に当たっては、各行における第1四半期決算日(3月31日)現在の財務諸表を使用。また、連結決算日との間に生じた重要な取引は、連結上必要な調整を行う。 ■ 本資料のグループ各社の紹介ページでは、2021年1月～3月(又は3月末時点)の状況を記載(現地通貨ベース)。
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank)		
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank)		

《為替レート》 以下のグループ会社の財務諸表において、現地通貨を円換算する際に使用した為替レート

会社名 【現地国名】	現地通貨	2020年12月期第1四半期		2021年12月期第1四半期	
		期末レート (2020年3月末)	平均レート (2020年1月～3月)	期末レート (2021年3月末)	平均レート (2021年1月～3月)
ハーン銀行 (Khan Bank LLC) 【モンゴル国 (Mongolia)】	トゥグルグ (MNT)	1円 = 25.62MNT	1円 = 25.35MNT	1円 = 25.74MNT	1円 = 26.86MNT
キルギスコメルツ銀行 (OJSC Kyrgyzkommertsbank) 【キルギス共和国 (Kirghiz republic)】	ソム (KGS)	1KGS = 1.36円	1KGS = 1.51円	1KGS = 1.29円	1KGS = 1.26円
ソリッド銀行 (JSC Solid Bank) 【ロシア連邦 (Russian Federation)】	ルーブル (RUB)	1RUB = 1.37円	1RUB = 1.63円	1RUB = 1.46	1RUB = 1.42円